

平成25年3月17日

平成25年度 事業計画書

(1) 男子学生の収容

定款第3条により、公益財団法人春風学寮の建学の目的は下記の通りに定められている。「男子学生の収容および奨学援助をはかり、神を畏れ学を励み、寮生相互に愛と信頼を厚くし、自治共同の精神を養い、広く日本社会と世界に貢献し奉仕する有為な人材を育成することを目的とする。」

この目的を達成するため、本寮は東京近郊の男子学生を収容する。

(2) 聖書研究会の開催

前述の建学の目的にさらに沿うために、本寮は、寮長の森山浩二氏を中心に、学寮先輩の方々のご協力により、夏、冬、春の休暇期間を除いて、毎週日曜日の朝、1時間半をこのためにあてがい、聖書研究会を開催する。出席者は本寮の学生と寮長夫妻と、友人、学寮先輩である。

(3) 感謝祭（寮祭）の開催

学寮創立84年目を迎え、本年も恒例の春風学寮感謝祭（寮祭）を4月29日に開催する予定である。そのため前年度の1月頃から準備を始めている。

(4) クリスマス祝会の開催

例年通り12月14日（第三土曜日）午後6時から9時半頃まで、クリスマス礼拝、夕食会を含む祝会（寮生の余興やゲームなど）を行う。来賓や学寮の先輩、寮生合わせて、約40名の参加を予定している。

(5) 留学生の支援

中国からの留学生3名を奨学援助する。

(6) 読書会の開催

本年は、新寮生と留学生を中心に、5月の連休後、まず内村鑑三「後世への最大遺物・デンマーク国の話」（岩波文庫）を2回に分けて学び、以後、毎月1回の割で、有志による読書会を行う。扱うテキストは、参加者の希望を聞いて決める。

(7) 講演会の開催

本年は、6月に早稲田大学教授・村井誠人氏に、デンマークについて話を聞き、11月には卒寮生の木村護郎氏（上智大学教授）に、1年間のドイツ研修での感想を聞く予定。そして、適宜、卒寮生に来てもらって、寮時代、現在の社会人生活など話を聞く機会を多く設けたい。

（8）名所旧跡探訪と小旅行

寮生たちは東京に住んでいながら、意外に名所旧跡を知らないし、出かけていないので、親睦を兼ね、祝日などを利用して、名所旧跡探訪を有志で行いたい。又、東京近郊の山々などに一日ハイキングに出かけたい。

（9）「創立85周年事業委員会」を立ち上げる

本学寮は、来年、創立85周年を迎える。そのような記念すべき時を控え、記念事業として2つを計画している。

- ① 2014年夏に、本学寮創立者の道正安治郎先生と関係が深い「中国東北部の歴史を学ぶ旅」を企画したい。これには、在寮生を含む学寮関係者から希望を募り、グループを編成する。その準備委員を編成し、計画案を今年度中に作成し、来年3月の理事会に提案する。
- ② 「春風学寮85周年記念誌」を作成する。そのための記念誌作成委員会（在寮生と卒寮生を含む）を編成し、刊行に向けて準備をする。このためにかかる費用については理事会にはかる。

（10）春風学寮ホールの有効利用について

本学寮のホールは、主に学寮の日曜日の聖書集会を始め、学寮の諸行事で使用されるが、それ以外に、学寮関係者の要望があれば、寮長の判断により広く利用してもらいたい。聖書の学びの会や学習会、内村鑑三研究会の事務局会議や日韓青年友和の会の事務局会議や話し合いの場として活用してもらいたい。

小規模ですが、東京近郊の山々等へハイキングにでかける予定である。